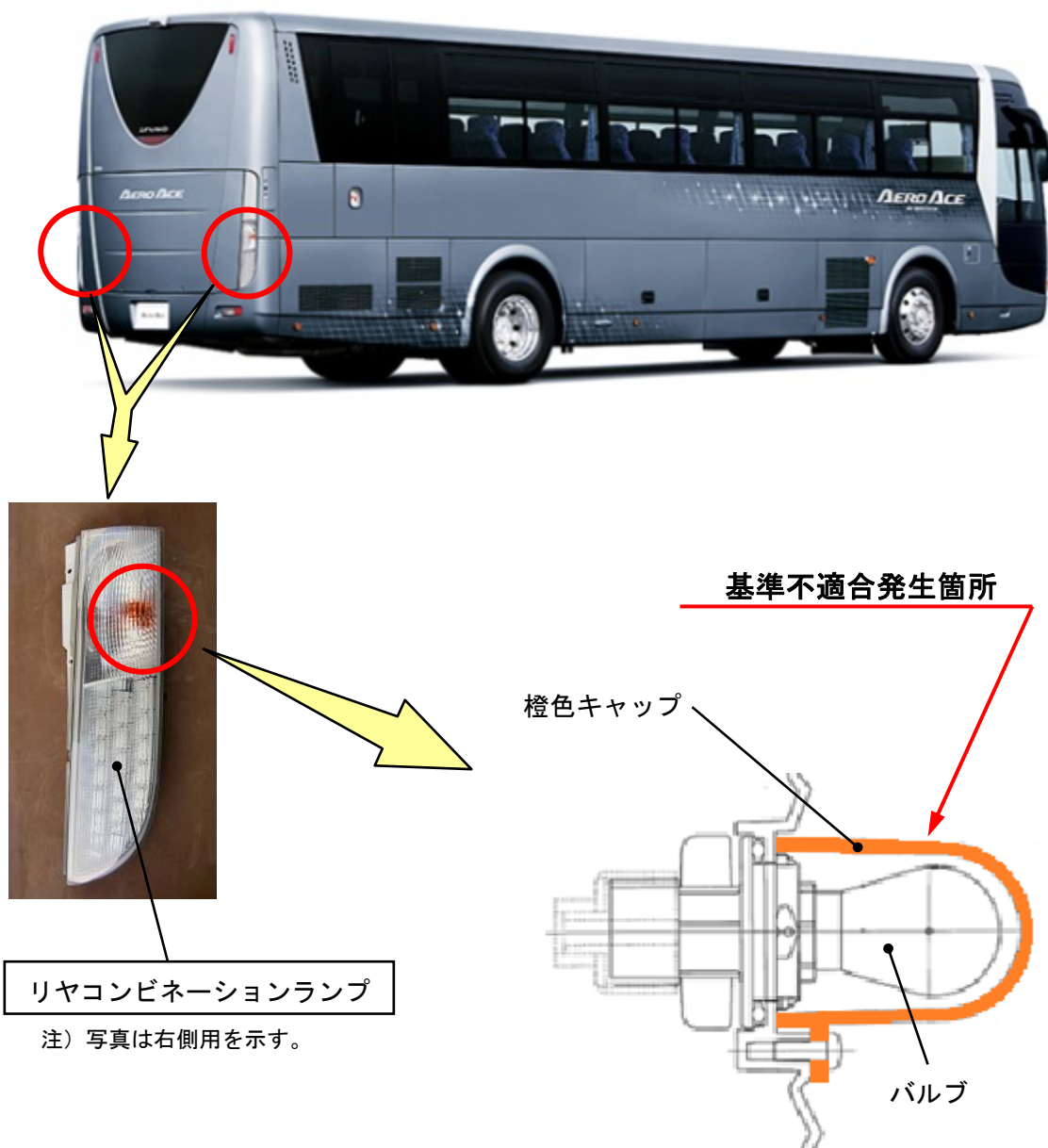


改善箇所説明図



リヤコンビネーションランプ

注) 写真は右側用を示す。

大型観光バスにおいて、方向指示器の長時間点滅を繰り返して行くと、後面方向指示器の橙色キャップ上部が溶損する場合があります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該キャップの気化成分でレンズ内面が白濁すると共に、当該キャップ上部に穴が開くおそれがある。

改善措置の内容

全使用者に対し当該不具合について周知し、後面方向指示器にレンズ内面の白濁や橙色キャップの溶損が認められた場合は、左右のリヤコンビネーションランプを対策品に交換する。

注 : は、交換部品を示す。

識別 : 作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB159」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。